

ちい きせいかつしえんきよてん もと げんしゃかいしげん ふそく かん  
 地域生活支援拠点に求めるもの、現社会資源で不足と感 じるもの

\* 以下は 前回の 本会 終了 後に、何人かの 委員 から いただいた 意見を まとめた ものである。

<<不足と感 じるもの>>

◎ 日 中 活動 の場

- 医療的ケアのある方 や 重症心身障害者、強度行動障害の方達が通う場
- 医療的ケアのある方 のための 通所サービス の 充実 ・ ・ 看護師 や 職員 の 確保、送迎バスの整備、  
 重心施設の整備
- 多様な通所事業所 ・ ・ ・ 生活介護事業所 であっても、作業的な内容を多くし、生産活動に関わ  
 ることができるような事業内容の工夫など

◎ 緊急時の受け入れ対応等

- 緊急の有無にかかわらず 重度の方 (医ケアや強度行動障害など) が利用できる短期入所
- 虐待で一時的に分離が必要な場合の受け入れ先
- \* 緊急時の考え方 ・ ・ ・ どのような事態にどのような対応をするのか、コンセンサスが必要

◎ 相談機能として

- 24時間の相談体制
- コーディネーター
- 計画相談支援をスムーズに展開させるための、計画的な研修の場やサポート体制

◎ 体験の場

- 宿泊型自立訓練

<<求めるもの・必要と思うもの>>

◎ 体験の場として

- 1人暮らしの体験 ・ ・ ・ 自宅での体験やアパートなどでの体験 (家賃代の補助とか金銭的支援)

◎ 地域支援力向上への支援 → O J T も含めた継続的な研修体制の構築

◎ 地域の体制づくり

- 分野を超えたネットワークの構築 (高齢者の地域ケア会議のようなイメージ)
- 地域支援機能をスムーズに展開していくための環境整備や連携する機関の役割分担の確認など

◎その他

→成人期の余暇活動支援事業の整備

→家族支援のケアシステム

→触法対応の整備

\*当事者の意見をどんな形で聞くか??